

神さまのおはなし9月一年少児

学年ごとの「神さまのお話 9月」

年少児の内容を紹介します。

シスター木田



皆さん、こんにちは。今日シスターは、赤さんたちと短い時間ですが、神さまのお話をしたいと思っています。

始めに十字架のしるしをしてみましょう。お祈りする時は、十字架のしるしをしてから始めます。青さんも一緒に聞いていてくれるので、まず青さんの十字架のしるしを見ててくださいね。(青さんが十字架を切る。)カリタス幼稚園でたくさんお祈りしてきた青さんは、十字架のしるしがとてもきれいです。では赤さんもゆっくりしてみましょう。「父と子と聖霊のみ名によって。」きれいにできましたね。十字架とは、今シスターが身に着けているこのペンダント、これが十字架です。

さて、皆さんに質問します。皆さんは誰の子どもですか？誰から生まれてきましたか？そう、そうですね。お母さんから生まれてきました。皆さんは、お父さんとお母さんの子どもです。お父さん、お母さんの子どもですが、もう一つ、〇〇の子どもなのです。何でしょう。そうです。神さまの子どもです。皆さんが、お父さんやお母さんにどこか似ているように、神さまの子どもですから神さまにも似ている

のです。神さまに似ているなんて嬉しくなりますね。

今日は、おともだちを連れてきました。(写真の)かめさんです。かめさん、何か話していますね。「ナニ、ナニ？フムフム。」かめさん、何かを持ってきたそうです。(箱を取り出して)かめさんは、皆さんにプレゼントを紹介したいそうです。では開けてみましょうか。あれっ！この中には何も入っていないですね。「かめさん、何にも入っていないですよ。」「ナニ、ナニ、フムフム。」なるほど～そうですね。かめさんは、プレゼントは箱の中身ではなく、おともだち一人ひとりが神さまからのプレゼントなんですよと話しています。そのことを伝えたくて、箱を持ってきたのだそうです。

皆さんは、プレゼントをもらおうと大事にするでしょう。世界でたった一つの自分という神さまからのプレゼントを大事に大事にしてください。お間違いをした時も大事、大事。悲しくなったり、けんかしたりした時も大事、大事。自分もプレゼント、おともだちもプレゼントです。自分も大事、大事。おともだちも、まわりの人も大事、大事。そのことを心の中で大切にしてください。かめさんも、そう、そうっと言っています。ではお話の最後に一曲ギターで歌を歌います。みなさん、聞いてください。

♪ 神さまの愛はしみとおる。わたしたちの心に陽の光のように♪

今日のシスターお話は、これでおしまいです。